

八丈管内の遺伝資源の収集・評価・保存

【研究概要】

八丈島には貴重な園芸植物の品種や系統が存在するので品種改良素材としてこの品種群を維持し、有効活用法について検討する。また新規に品種・系統を導入し、性状の把握、栽培技術の検討を行った。

①10月に収穫した「菊池レモン」の未熟果実をリスボン、ユーレカと較べると、果皮は、厚みが同程度であり、近縁種と言われるマイヤーと同様に柔らかかった。また、果皮には苦み成分を含有せず、糖含量も高く、果汁歩合も高かった。

②ロベ優良系統について2014年・2020年交配苗の育成を継続して行った。

③八丈島内のフェニックス・ロベレニー（以下ロベ）現地圃場定期調査により、各圃場の飛散塩量とロベ葉品質との関係を把握した。また、ネットハウスの利用により、葉の付着塩量を約半分に抑え、植物コーティング剤の併用により潮風害の進行を大幅に抑制できることを確認した。

④ロベの潮風害は、海水より低濃度の食塩水でも発生するが、ロベ葉の水道水浸漬除塩により症状の発生を抑制することを確認した。

⑤マンゴー3年生樹では、開花数に対する着果数や有種子果数に品種間で差が見られた。特に「アーウィン」は有種子果となる割合が高くなることを確認した。